



福田中学校区人権だより

ふれあいふくだ

第44号

発行 福田中学校区人権学習推進委員会

事務局 倉敷市福田公民館

〒712-8046 倉敷市福田町吉新田274-21 Tel.086-454-0148



岡山大学准教授 博士(総合社会文化)
講師 吉川 幸先生

カードゲームを使ったSDGsの研修会 キーワードは「対話と分断」

七月三十一日(土)第四福田小学校の図書室で、カードゲームを使ってSDGsの研修会を行いました。人権学習推進委員さん・福田中・第二福田幼・第二福田小・第四福田小の先生方が加わり体験型の研修会を行いました。とても充実した、しかも楽しく取り組めた研修会で予定した二時間半があっという間に終わりました。



今回の研修で学んだことは「対話」の重要性でした。現実の世界の中で人と対話ができているか。相談できる人が周りにいるか。対話と協議で地方創生を進めていくことの大切さを改めて知ることができました。

地方創生とまちづくり。まちの魅力は仕事をつくる。仕事があるから人が集まる。人がいるからまちに魅力が生まれる。持続可能なまちをつくるには、やはり人づくりのスキルを磨くことが基本でした。

「夢・自律貢献 ～一人ひとりが輝く福中～」を目指して

倉敷市立福田中学校 校長 中田 和子



保護者の皆様、地域の皆様、平素から本校教育の推進につきまして、温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私は昨年度、福田中学校に着任いたしました中田和子と申します。よろしくお願いいたします。今年度、福田中学校は六百五十一名の生徒、六十名の教職員でスタートしました。一線校舎に掲げている校訓の「自主・誠意・友愛」の精神を常に意識し、校章のデザインのベースになっているひまわり（太陽に向かって伸びていく）のように、未来に向かって成長する生徒であり続けてほしいと願っています。

また、今年度から「**夢・自律貢献～一人ひとり**が輝く福中」を合言葉に、

①**夢・目標を持ち、その実現に向けて努力できる人**に

②**自分で考え、判断し、行動できる人**に

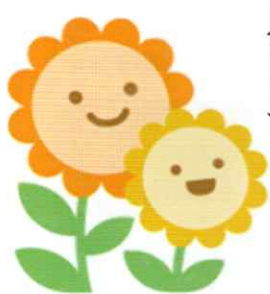
③**人や社会のために役立つことを喜びと感ずる人**に成長してほしいと機会を捉え、話をしています。

そして、昨年度から準備を進めてきましたが、今年度より正式に地域学校協働本部 **FOALUMI** (Community Activated FukudaiHS's Education) を設立しました。この名称には、学校・家庭・地域との連携を深め、「開かれた学校づくり」に努めるとともに、福田中学校区のコミュニティを活性化するという願いが込められています。さらに、CAFEのような温かい雰囲気や気軽に足を運んでいただけるような場になれば…という想いも込められています。具体的な活動としては、毎週月曜日の読み聞かせや月一回の福中ボランティア（環境整美・掲示物）

を始め、職業人に学ぶ会、防災に学ぶ会、福中公開講座として性教育や金融教育等の特別授業等です。今年度は、卒業生であるプロバスケットボール選手を講師に、キャリア教育講演会でお話をお聞きしたり、校内人権週間には、読み聞かせボランティアの方が全校に人権作文を朗読してください。さつたりと、少しずつ活動が広がっています。保護者や地域の皆様に見守られたり、交流したりすることで、生徒達は、落ち着いた学習環境で生活することができており、大変感謝しております。福中ボランティアに参加する生徒数も、今では毎回百名を超えるようになり、福田公民館の環境整美にも参加させていただきました。

今度は、生徒達が自分たちができる地域貢献・社会貢献を考え、提案し、実行してくれることを願っています。支えてくださっている保護者や地域の方々を始め、周りの人へ感謝の気持ちを忘れず、その気持ちを伝えてほしいと思います。

今後も生徒、教職員、保護者の皆様、地域の皆様一人ひとりが輝き、笑顔があふれる福田中学校になるよう努力していきたいと思っております。



人権教育講演会

持続可能なまち



NPO倉敷町家トラスト代表理事 中村 泰典
水島パークマネジメントトラボ代表理事 古川 明

NPO 法人倉敷町家トラスト 代表理事 中村 泰典様 (右)
水島パークマネジメントトラボ 代表理事 古川 明様 (左)

8月11日(水)福田公民館の大会議室で25名の参加者を迎えて人権教育講演会を開きました。講師にはNPO 法人倉敷町家トラストの代表理事の中村泰典様と水島パークマネジメントトラボの代表理事古川明様を迎えて、「持続可能なまち」という演題で講演をお願いしました。

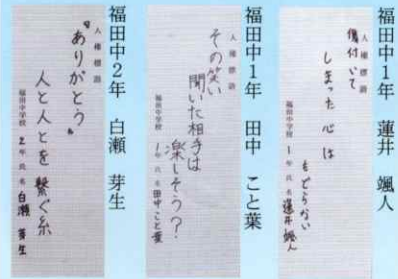
中村様は倉敷の伝統的な町並みを保存する視点から、古川様は水島のまちを再生していく視点から、「まちづくり」について熱い思いを語られました。



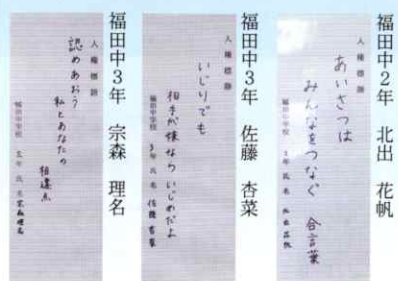
参加者のアンケートから

- 倉敷の美観地区は観光地として昔からあると思っていたが、実は50年前は違っていたことを知った。SDGsに取り組んでいく中で情報発信をすることは大切だと改めて思った。
- 水島地区の情報がもっとほしい。インターネット SNS スマホ等の情報があるけれど老人たちには難しい時もあります。
- 地域をもっともっと知ることから始めなければと思うのですが、中高年の人たちが関心を持たないといけませんね。まちづくりは一部の人だけをするのではなく、そこに暮らす人々がしっかり考えていくべきだと感じました。
- 大変すばらしいお話をありがとうございました。いろいろな視点から倉敷を考えることができました。人が快適に生きる、生き続けることが大切だと思いました。

福田中学校



福田中3年 浅田 姫花 福田中3年 吉留 実優 福田中1年 高橋 煌矢



福田中2年 大塚 優良 福田中2年 守上 尚花 福田中1年 三上 琴乃

みんなの素晴らしい作品は観る人の心が癒されるでしょう。



人権標語・ポスター入選作品の紹介

人権尊重の意識を広める事を目的に。福田中学校区の小・中学生を対象に人権標語とポスターを募集した結果多くの作品をご応募いただきました。

第二福田小学校



二福小3年 片平 翼 二福小2年 中務 結子 二福小1年 正清 絃人
二福小6年 山田 咲 二福小5年 坂井 菜夏 二福小4年 稲田 早希

第四福田小学校



四福小1年 植月 祐晴 四福小2年 淵上 千尋 四福小1年 土田 陽葵
四福小5年 市 朱莉 四福小6年 大橋 穂果 四福小4年 山磨 優菜 四福小3年 秀島 佳奈

● 広報紙「ふれあいふくだ」は、愛育委員・町内会の皆さまのご協力で福田中学校区全戸に配布しています。